

講義科目名称：会計学特論

授業コード：

授業科目の区分等：専門科目 経営学・会計学・経済学分野

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
後藤 小百合			

授業のねらい（概要）	近年における会計基準の新設や改訂は目も見張るものがある。企業実態をいっそう的確に描写できる透明性の高い財務諸表の作成と開示が求められており、国際財務報告基準（IFRS）とのコンバージェンス化が推進されている。そのような状況を踏まえて、特に財務会計の個別論点について取り上げ、最新内容を検討していく。
授業計画	<p>第1回</p> <p>財務会計分野における下記の個別論点について検討し、最新内容についての理解を深める。</p> <p>第1回 ディスクローチャー制度の革新          第2回 金融商品会計          第3回 リース会計          第4回 収益認識基準          第5回 連結会計          第6回 企業結合・事業分離等の会計          第7回 税効果会計          第8回 減損会計          第9回 資産除去債務の会計          第10回 外貨換算会計          第11回 退職給付会計          第12回 スtock・オプションの会計          第13回 研究開発費会計          第14回 無形資産会計          第15回 戦略的企業評価</p> <p>予習（時間）：講義時に指示した論点についてテキストの該当箇所を事前に予習をしておく。（120分）          復習（時間）：講義内容を復習し、指示されたレポート課題を作成する。（120分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>【商学研究科】DPのうち、下記の2項目を念頭に置いた科目である。</p> <p>1. 一般的及び専門的教養の基礎の上に、構造的システムの分析能力を身につけている。          4. 調査、研究のために必要となる様々なスキルを身に付け、企業や産業が直面する諸課題に対し高度な判断能力、分析能力を活用することができる。</p>
到達目標	<p>?財務会計分野の個別論点について専門的知識を深め、計算構造を理解している。          ②財務会計に関する研究方法を学び、先行研究や文献購読など主体的に研究を進めることができる。          ③各個別論点について、研究課題に主体的に取り組み、提出課題を作成できる。          ④各自の研究テーマと関連性の高い会計基準について、専門的知識を習得し、レポート課題を作成できる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については、修正点や改善点などを赤字で記入の上、返却する。
履修上の注意	簿記会計に関する基礎的知識を有していることが望ましい。
成績評価の方法・基準	①発表・議論30% ②学習意欲20% ③レポート課題50%
教科書	書名：財務会計講義第19版 著者名：桜井久勝 ISBN番号：978-4-502-26641-6 出版社：中央経済社 価格：3800円
参考書・教材	【教材】必要に応じて適宜指示します。
備考	講義科目
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）